

財団法人 日本サッカー協会

平成 22 年度 第 2 回理事会

協議事項

1. 次期役員選出方法の件
(協議) 資料No. 1
2. 2009 (平成 21) 年度公認 S 級コーチ養成講習会判定結果の件
<p>全てのコースを修了し、筆記試験・口頭試験・指導実践・レポート全てにおいて合格したため下記 8 名を公認 S 級コーチと認定したい。</p> <p>氏 名 : 上野 優作 (うえの ゆうさく) 所属チーム : 栃木サッカークラブ 生年月日 : 1973 年 11 月 1 日 資 格 : 2009 年 公認 A 級コーチ 指 導 歴 : 2009 年～栃木サッカークラブスクールコーチ</p> <p>氏 名 : 大平 正軌 (おおひら まさき) 所属チーム : 流通経済大学 生年月日 : 1970 年 5 月 16 日 資 格 : 2007 年 公認 A 級コーチ 指 導 歴 : 1999 年 流通経済大学サッカー部コーチ 2000 年～水戸短期大学附属高校サッカー部コーチ 2003 年～流通経済大学サッカー部コーチ 2005 年～2008 年 流通経済大学サッカー部 JFL 監督</p> <p>氏 名 : 慶越 雄二 (けいごし ゆうじ) 所属チーム : JFA ナショナルトレセンコーチ 生年月日 : 1963 年 9 月 17 日 資 格 : 2003 年 公認 A 級コーチ 指 導 歴 : 1998 年～ガンバ大阪育成 GK コーチ 2000 年～ナショナルトレセンコーチ関西担当 2007 年～2008 年 U20/U18 日本代表 GK コーチ 2008 年～2009 年 U19 日本代表チーム GK コーチ</p> <p>氏 名 : 東海林 毅 (とうかいりん たけし) 所属チーム : 大宮アルディージャ 生年月日 : 1969 年 2 月 16 日 資 格 : 2004 年 公認 A 級コーチ</p>

指導歴 : 1998年 筑波大学蹴球部 コーチ
 1999年 専修大学体育会サッカー部ヘッドコーチ
 2000年 大宮アルディージャサッカースクールコーチ
 2001年～2003年 モンテディオ山形トップチームコーチ
 2004年～2006年 コンサドーレ札幌トップチームフィジカルコーチ
 2007年～2008年 横浜FCスクール及び育成コーチ
 2010年～ 大宮アルディージャ U12 コーチ

氏名 : 長澤 徹 (ながさわ てつ)

所属チーム : FC 東京

生年月日 : 1968年5月28日

資格 : 2007年 公認A級コーチ

指導歴 : 1998年～ホンダフットボールクラブトップチームコーチ
 2001年～FC東京トップチームコーチ
 2002年～FC東京トップチームコーチ/サテライト監督
 2006年～FC東京トップチームヘッドコーチ
 2008年～FC東京ジュニアユース深川監督

氏名 : 松原 良香 (まつばら よしか)

所属チーム : フェリーチェ FC

生年月日 : 1974年8月19日

資格 : 2008年 公認A級コーチ

指導歴 : 2005年 静岡FC監督
 2006年 学習院中等科コーチ
 2008年 フェリーチェ FC 監督
 2009年～学習院大学サッカー部コーチ

氏名 : 森下 仁志 (もりした ひとし)

所属チーム : ジュビロ磐田

生年月日 : 1972年9月21日

資格 : 2009年 公認A級コーチ

指導歴 : 2006年 ジュビロ磐田ユースコーチ
 2007年 ジュビロ磐田ユースコーチ
 2008年 ジュビロ磐田トップ兼サテライトコーチ

氏名 : 山口 素弘 (やまぐち もとひろ)

所属チーム : 東海大学体育会サッカー部

生年月日 : 1969年1月29日

資格 : 2009年 公認A級コーチ

指導歴 : 2008年～東海大学体育会サッカー部コーチ

※参考 : 現S級コーチライセンス保持者数 : 313名 (上記8名含む)

3. トレセン／地域リーグ支援制度の件
<p style="text-align: center;">(協議) 資料No.2</p> <p>申請のあった地域 FA に対し、審査の上、条件にあった地域 FA に対し、支援金 20 万円を支払いたい。</p>
4. トレセン/U-16 地区リーグ支援制度の件
<p style="text-align: center;">(協議) 資料No.3</p> <p>申請のあった都道府県 FA に対して、審査の上、条件にあった FA に対し、支援金 20 万円を支払いたい。</p>
5. 評議員選任の件
<p style="text-align: center;">(協議) 資料No.4</p>
6. 日本人指導者海外派遣の件
<p style="text-align: center;">(協議) 資料No.5</p> <p>ブータンサッカー協会からの要望を受け、アジア貢献事業の一環として、前任の行徳 浩二氏（2008 年 4 月～2010 年 1 月）に続き、以下の指導者を派遣したい。</p> <p>派遣者： 松山 博明（マツヤマ ヒロアキ）（42 歳）</p> <p>派遣先協会： ブータンサッカー協会（B F F）</p> <p>資格： 公認 S 級コーチ（2006 年取得）</p> <p>役職： ブータン代表監督、B F F アカデミーのヘッドコーチ</p> <p>契約期間： 2010 年 6 月 1 日～2012 年 1 月 31 日</p> <p>費用負担： [J F A] 給与および傷害保険料 [B F F] ブータンにおける住居・自動車 日本-ブータン間の航空券 ブータン-タイ間の航空券（高地休暇用：ブータンの首都ティンプーは標高 2,400 メートルの高地である）</p> <p>略歴： 添付別紙のとおり</p> <p>理由：ブータンサッカー協会は南アジア地域に位置する 8 協会（アフガニスタン、インド、スリランカ、ネパール、パキスタン、バングラデシュ、ブータン、モルジブ）の中で、J F A を必ず支持する数少ない協会の一つである。A F C や F I F A の役員を選出する A F C における選挙においては、常に僅差の投票となることから、日本の支持国を継続的に支援し、友好関係を強固にしていくことは非常に重要なことである。</p> <p>また、ブータンサッカー協会は 2002 年まで F I F A ランキング最下位であったが、協会・サッカーファミリーが一致団結しており、着実に育成を行ってきたこと、ま</p>

た行徳氏の貢献もあり、197位まで順位を上げてきている。

現ブータン協会会長は現国王の叔父で、「ジムドラ社」という商社を経営して手広く事業を展開している。政権基盤は伝統的に非常に安定している。

ブータンサッカー協会への指導者派遣実績：

2008年4月より2010年1月の間、行徳浩二氏がブータン代表監督兼BFFアカデミーのヘッドコーチとして赴任した。2008年6月に行われたSAFF（南アジアサッカー連盟）選手権で海外での初勝利をあげ（対アフガニスタン戦）、準決勝で隣国インドに善戦した（延長戦0-1で惜敗、ライブで全国放送された）。

国民にサッカー熱を高めた功績によりブータン国王に謁見するなど、ブータンのサッカー発展に大きく貢献した。

7. 委員会委員・部会員交代の件

(1) 天皇杯実施委員会

現) 委員(社会人) 谷 邦男 (タニ クニオ)

↓

新) 牛久保 勇 (ウシクボ イサム)

現) 委員(東海) 平田 順一 (ヒラタ ジュンイチ)

↓

新) 福富 孝芳 (フクトミ タカヨシ)

(2) 1種大会部会

現) 委員(社会人) 牛久保 勇 (ウシクボ イサム)

↓

新) 谷 邦男 (タニ クニオ)

(3) 3種大会部会

現) 部会員(北海道) 大井 一雄 (オオイ カズオ)

↓

新) 鎌足 光正 (カマタリ ミツマサ)

現) 部会員(東海) 細野 知秀 (ホソノ トモヒデ)

↓

新) 宇津 慎一 (ウツ シンイチ)

現) 部会員(北信越) 長瀬 重典 (ナガセ シゲノリ)

↓

新) 殿村 哲夫 (トノムラ テツオ)

(4) シニア大会部会

現) 部会員(東海) 佐賀 昭雄 (サガ アキオ)

↓

新) 池原 一嘉 (イケハラ カズヨシ)

(5) 女子大会部会

現) 部会員(東北) 佐々木 光則 (ササキ ミツノリ)

↓

新) 清水 実 (シミズ ミノル)

(6) フットサル大会部会

現) 部会員(中国) 青山 巧 (アオヤマ タクミ)

↓

新) 川野 貴志 (カワノ タカシ)

現) 部会員(北海道) 北林 剛 (キタバヤシ ツヨシ)

↓

新) 溝口 昇 (ミゾグチ ノボル)

8. J F Aグリーンプロジェクト芝生特区・認定規定の件

(協議) 資料No.6

プレジデント・ミッション「M2. JFA グリーンプロジェクト」にて展開する「芝生化」に関する取り組みを広く社会に紹介、更には芝生のグラウンドの整備に関する社会的な機運のより一層の醸成を図ることを目的に、特に先進的な取り組みを行う地区を「JFA グリーンプロジェクト芝生特区」として認定したい。

9. クラブライセンス制度のJリーグへの権限委譲の件

(協議) 資料No.7

F I F A及びA F C規則の定める「クラブライセンス制度」に関する権限をJリーグに委譲したい。

(1) 背景

F I F Aクラブライセンス規則に基づき、各国の協会はクラブの健全な経営を実現させることを目的として、クラブが満たすべき基準を様々な観点(競技面、施設面、組織・人事面、財務面、法務面など)から審査し承認する仕組みを策定し運用することが求められる。

A F Cは本年3月26日の理事会においてA F Cにおける同制度の導入を正式に決定したが、これに伴い、2013年度よりA F Cチャンピオンズリーグ(以下、A C L)への出場の条件として当該クラブがクラブライセンス制度に基づき審査され承認されたクラブであることが必要となった。従い、日本のクラブがA C Lへ出場するためには、本協会はA F Cクラブライセンス制度に基づき国内のクラブライセン

ス制度を策定し、運用しなければならない。

ここで、FIFA及びAFCのクラブライセンス規則では、クラブライセンス制度の施行に関するFIFA及びAFCに対する責任はあくまで当該協会が負うことを前提とし、各国協会はその所属リーグにクラブライセンス制度に関する権限を委譲できる、と定めている。

(2) Jリーグへの委譲の理由

- ① クラブライセンス制度を順守すべき対象となるクラブは、ACLに出場する可能性のあるクラブであり、事実上、Jリーグのクラブが主たる対象となる。
- ② Jリーグでは、現在でも既にリーグへの新規入会にあたりクラブに対し様々な資格要件を設け、その審査を行う組織体制を整えている。また、入会後も各クラブに対してJリーグ経営諮問委員会によるクラブの経営状態に関する審査が厳格に行なわれる仕組みがJリーグには確立されている。
- ③ 本協会が、Jリーグが既に持っている上記審査体制とは別に新たにクラブを審査するための制度と組織を一から設けることは、コスト面や体制面などに鑑みても現実的ではない。

以上、3つの理由から、Jリーグが既に持っている審査体制を変更、拡張し、FIFA及びAFCが定めるクラブライセンス制度に合致させる形で発展させ、実質的な制度設計、運用及び管理等をJリーグにて行うことが現実的であり、望ましいと判断する。

(3) その他

来年2011年4月までに、国内のクラブライセンス規則のドラフト版をAFCに提出することが求められており、これに向け、各分野（競技、施設、組織・人事、財務、法務など）の細かい審査の手順、基準、体制等の大枠を決定する必要がある。今回「Jリーグへの権限委譲」の決定がなされれば、Jリーグは、速やかに「準備プロジェクト」を立ち上げ、クラブライセンス制度の体制づくりを進めることになる。

また、Jクラブ以外のクラブの扱い、制度の実施に係る費用負担、Jリーグと本協会の役割分担の詳細等については、今後、Jリーグと協議の上決定するものとする。

※クラブライセンス制度の詳細については、別添資料参照

10. JFAロングパイル人工芝ピッチ公認(新規)の件

1. 公認申請者：神栖市
 施設名：神栖総合公園サッカー場(Bコート) (茨城県/神栖市)
 施設所有者：神栖市長 保立一男
 公認期間：2010年5月20日～2013年5月19日
 公認番号：第103号

<特記事項>

- ◆SP ターフ(60) /スポーツ施設(株)は製品検査 (ラボテスト) を完了し、JFA ロングパイル人工芝基準を満たしている。
- ◆公認規程に基づき2回の検査 (フィールドテスト) を実施し、JFA ロングパイル人工芝基準を満たしている。

2. 公認申請者： 山口市教育委員会

施設名： やまぐちサッカー交流広場 (山口県/山口市)

施設所有者： 山口市教育委員会 教育長 岩城精二

公認期間： 2010年5月20日～2013年5月19日

公認番号： 第104号

<特記事項>

- ◆アストロピッチ-SP(FCN-4525) /(株)アストロは製品検査 (ラボテスト) を完了し、JFA ロングパイル人工芝基準を満たしている。
- ◆公認規程に基づき2回の検査 (フィールドテスト) を実施し、JFA ロングパイル人工芝基準を満たしている。